

「介護の仕事のイメージについてのアンケート結果」

調査の概要

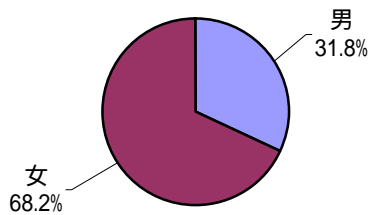
【調査目的】	本県で、介護の人材確保について取り組みを行っているが、今後、より効果的な事業を検討するためにアンケート調査を実施。
【調査実施期間】	平成26年8月4日から平成26年8月17日(14日間)
【調査対象】	WEB県政アンケート全モニター:373名
【回答状況】	送信数:373名 回答数:336名(回答率:90.1%)
【調査担当課】	長崎県福祉保健部福祉保健課

* 小数点以下第2位を四捨五入しているため100%にならない場合があります。

回答者の属性

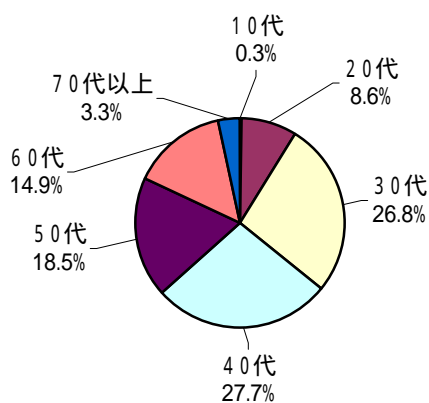
(性別)

区分	人数	構成比
男	107	31.8%
女	229	68.2%
計	336	100%

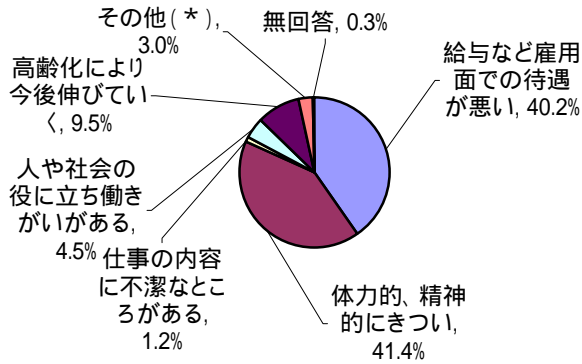


(年代別)

区分	人数	構成比
10代	1	0.3%
20代	29	8.6%
30代	90	26.8%
40代	93	27.7%
50代	62	18.5%
60代	50	14.9%
70代以上	11	3.3%
計	336	100%



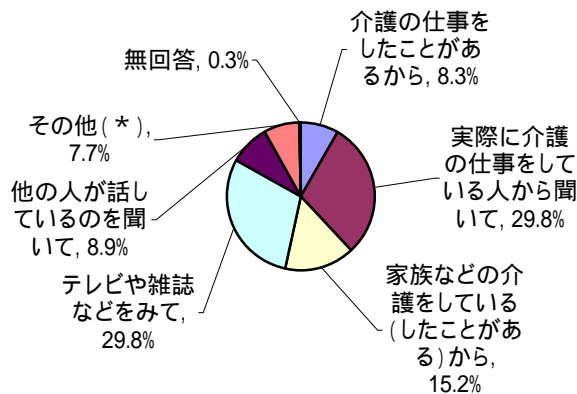
問1 介護の仕事にどのようなイメージをお持ちですか。



区分	回答者数(A)	構成比(A/B)
給与など雇用面での待遇が悪い	135	40.2%
体力的、精神的にきつい	139	41.4%
仕事の内容に不潔なところがある	4	1.2%
人や社会の役に立ち働きがいがある	15	4.5%
高齡化により今後伸びていく	32	9.5%
その他(＊)	10	3.0%
無回答	1	0.3%
計(B)	336	100%

* その他: 社会的評価が低い 等

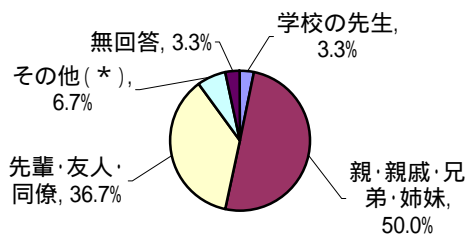
問2 問1のイメージをどうして持たれましたか。



区分	回答者数(A)	構成比(A/B)
介護の仕事をしたことがあるから	28	8.3%
実際に介護の仕事をしている人から聞いて	100	29.8%
家族などの介護をしている(したことがある)から	51	15.2%
テレビや雑誌などをみて	100	29.8%
他の人が話しているのを聞いて	30	8.9%
その他(＊)	26	7.7%
無回答	1	0.3%
計(B)	336	100%

* その他: 資格取得のための実習で実感、介護サービスを受けたことがあるから 等

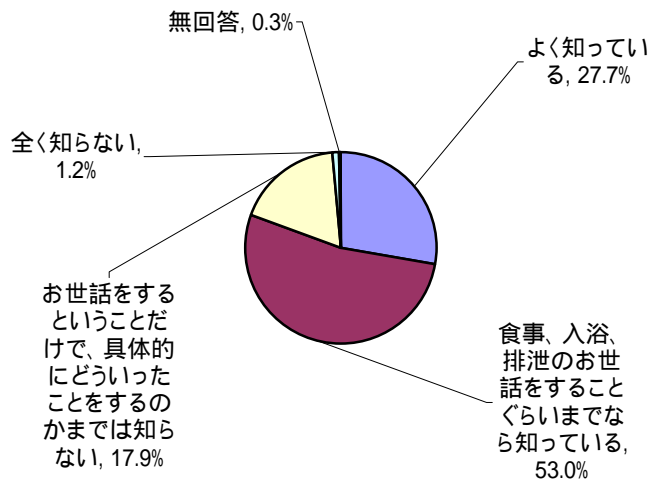
問3 問2で「5 他の人が話しているのを聞いて」と回答した方にお尋ねします。誰が、話しているのを聞きましたか。



区分	回答者数(A)	構成比(A/B)
学校の先生	1	3.3%
親・親戚・兄弟・姉妹	15	50.0%
先輩・友人・同僚	11	36.7%
その他(＊)	2	6.7%
無回答	1	3.3%
計(B)	30	100%

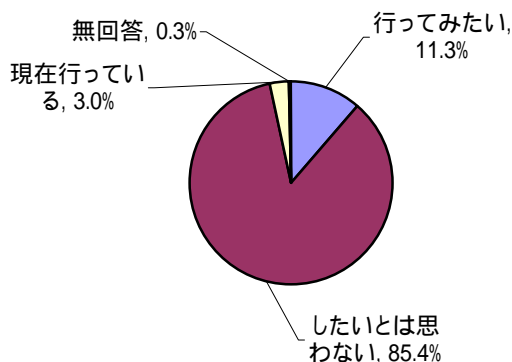
* その他: 介護の仕事をしている人・自宅介護をしている人・全ての人から 等

問4 介護の仕事の内容についてどの程度知っていますか。



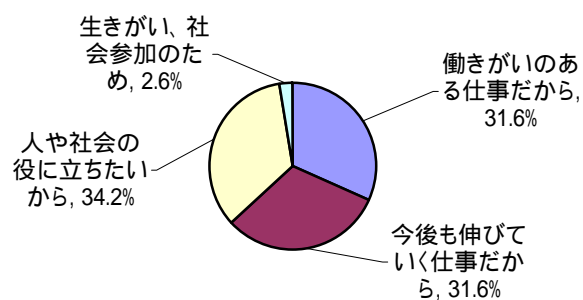
区分	回答者数(A)	構成比(A/B)
よく知っている	93	27.7%
食事、入浴、排泄のお世話をすることぐらいまでなら知っている	178	53.0%
お世話をするということだけで、具体的にどういったことをするのかまでは知らない	60	17.9%
全く知らない	4	1.2%
無回答	1	0.3%
計(B)	336	100%

問5 介護の仕事を行ってみたいと思いますか。



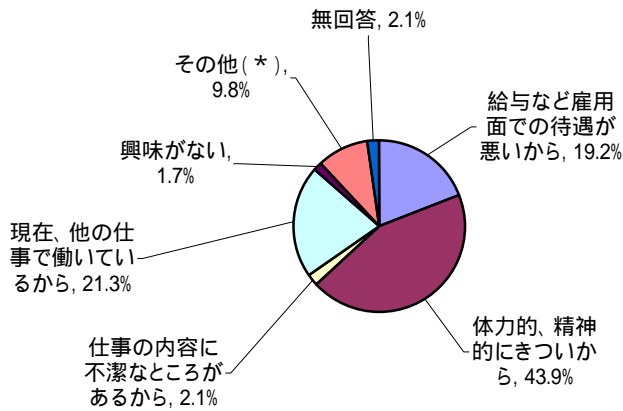
区分	回答者数(A)	構成比(A/B)
行ってみよう	38	11.3%
行ってみようと思わない	287	85.4%
現在行っている	10	3.0%
無回答	1	0.3%
計(B)	336	100%

問6 問5で「1 行ってみよう」と回答した方にお尋ねします。その理由はなんですか。



区分	回答者数(A)	構成比(A/B)
働きがいのある仕事だから	12	31.6%
今後も伸びていく仕事だから	12	31.6%
人や社会の役に立ちたいから	13	34.2%
働きがい、社会参加のため	1	2.6%
計(B)	38	100%

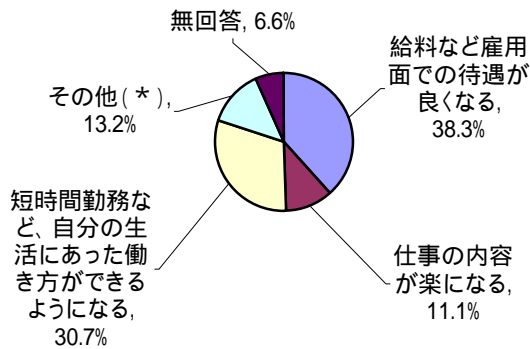
問7 問5で「2 したいとは思わない」と回答した方にお尋ねします。
その理由はなんですか。



区分	回答者数(A)	構成比(A/B)
給与など雇用面での待遇が悪いから	55	19.2%
体力的、精神的にきつから	126	43.9%
仕事の内容に不潔なところがあるから	6	2.1%
現在、他の仕事で働いているから	61	21.3%
興味がない	5	1.7%
その他(＊)	28	9.8%
無回答	6	2.1%
計(B)	287	100%

* その他: 自らが介護を受ける状況だから、時間が不規則だから、親の介護が優先だから 等

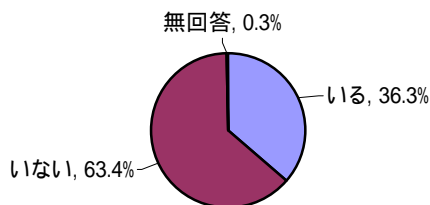
問8 問5で「2 したいとは思わない」と回答した方にお尋ねします。
どう変われば、介護の仕事を行ってみたいと思いますか。



区分	回答者数(A)	構成比(A/B)
給料など雇用面での待遇が良くなる	110	38.3%
仕事の内容が楽になる	32	11.1%
短時間勤務など、自分の生活にあった働き方ができるようになる	88	30.7%
その他(＊)	38	13.2%
無回答	19	6.6%
計(B)	287	100%

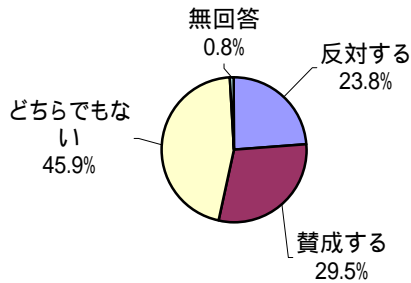
* その他: 仕事の細分化、パソコン等の専門事務があれば、どう変化してもしたくない 等

問9 10代、20代のお子さんがいますか。



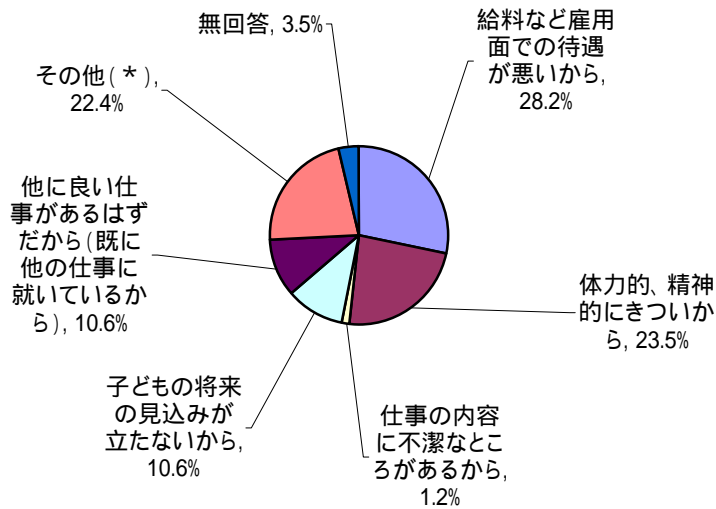
区分	回答者数(A)	構成比(A/B)
いる	122	36.3%
いない	213	63.4%
無回答	1	0.3%
計	336	100%

問10 問9で「1 いる」と回答した方にお尋ねします。子どもが介護の仕事で働くとした場合どう思いますか。



区分	回答者数(A)	構成比(A/B)
反対する	29	23.8%
賛成する	36	29.5%
どちらでもない	56	45.9%
無回答	1	0.8%
計(B)	122	100%

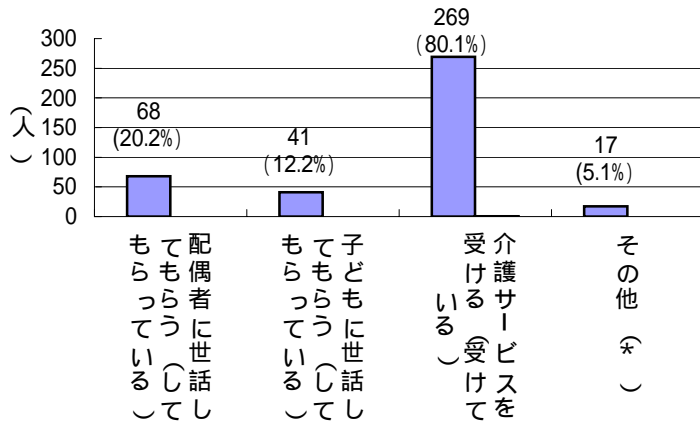
問11 問10で「1 反対する」「3 どちらでもない」と回答した方にお尋ねします。その理由はなんですか。



区分	回答者数(A)	構成比(A/B)
給料など雇用面での待遇が悪いから	24	28.2%
体力的、精神的にきついから	20	23.5%
仕事の内容に不潔なところがあるから	1	1.2%
子どもの将来の見込みが立たないから	9	10.6%
他に良い仕事があるはずだから(既に他の仕事に就いているから)	9	10.6%
その他(*)	19	22.4%
無回答	3	3.5%
計(B)	85	100%

*その他: 処遇・体力・すべての面で、社会的地位の向上を図るべき等

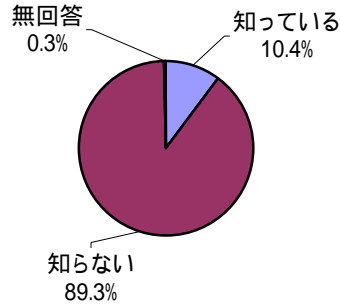
問12 高齢化に伴い、本県でも平成24年で、75歳以上の男性で約2割、女性で約1/3の方がなんらかの介護サービスを受けているという統計がでています。もし、ご自身が高齢になって日常生活が不自由になった場合どうしますか。(複数選択可)



区分	回答数(A)	割合(A/B)
配偶者に世話をしている(し話して)	68	20.2%
子どもに世話をしている(し話して)	41	12.2%
介護サービスを受けている(受けて)	269	80.1%
その他(*)	17	5.1%
回答者数(B)	336	-

*その他:わからない、自分の力で 等

問13 「11月11日」が「介護の日」ということをご存知ですか。



区分	回答者数(A)	構成比(A/B)
知っている	35	10.4%
知らない	300	89.3%
無回答	1	0.3%
計(B)	336	100%

問14 最後に、介護の仕事について、日頃思っていることがありましたらご記入ください。(自由記載)
(主な意見抜粋)

- ・給与等の処遇改善、働きやすい職場作り(短時間勤務、ボランティアの受け入れなど)への取り組みが早急に必要だと思う。
- ・けして、楽な仕事ではなく、自分はできないと思う。
- ・とても素晴らしい仕事だが、今現在、待遇や地位が低すぎると思う。
- ・今後、ますます介護の重要性が高まってくると思う。日頃から介護の知識を身につけておかなければと思う。
- ・介護はとてもストレスが溜まりやすく過酷な仕事というイメージがある。介護職員のメンタルケアも必要なのではないかと思う。
- ・今後、少子高齢化が進む中 介護支援者の待遇改善。それと並行して、健康寿命を延ばす取り組みも強化していくことが必要と感じる。
- ・イメージが悪い。実際に仕事をしている人の話を聞いてもきつそう。
- ・介護の仕事について、イメージをよくもってもらえるようなイベントなど定期的に行政が行えばまた変わってくると思う。
- ・家族だけでは限界がある。プロである介護職の待遇を良くしてもらって、質の高い仕事をして欲しいと思う。
- ・介護の仕事は、スタッフ間の人間関係を快適にしてほしい。介護職員のレベルがそれぞれで全く違い、サービスを受ける質が大きく変わる事が一番の問題だと感じる。介護レベルの統一化をしてほしい。
- ・施設によって職員の質に差がある。福祉の仕事で働く方はプロ意識を強くもって働いてほしい。また、職員のレベルを高める教育もしっかり行ってほしい。
- ・訪問介護の仕事をしているが、人の役に立ち、やりがいはあるが、移動時の交通費が出ない事が不満。また、移動にかかる時間も貴重な個人の時間なのに手当てはない。
- ・高齢者でも経験を活かして働けるようになるとありがたい。
- ・職種は看護師で、ケアマネも持っているため老人施設等から誘いを受けるが、待遇面で躊躇する。一人から二人の看護師で施設内を全部カバーするのは大変だと思う。病院のように入所者何名に対して看護師や介護職の人数をしっかりと決めて少しでも精神的身体的負担を減らしてゆくと良いと思う。
- ・これからは、ますます必要とされる仕事なのに、精神的苦痛、体力的に無理など噂が先走りして、諦める人がいると聞くので、今携わってる方にやって良かったことなど、良い所も紹介してもらいたい。
- ・いずれ自分もお世話になる身だから、機会があったら参加してもいいかなと考える。
- ・実際はどのような業務を行っているのか知る機会が少ないので、現在介護の仕事をしている方の経験談を直接聞いてみたい。
- ・身近に対象となる高齢者がいないと、最近は老人ホームがやけに増えた、と思うくらいのものである。介護の仕事がどんなものか広める上でも、職場体験などを定期的にするのもいいのではないか。
- ・短時間労働や、日曜日に休めたり、働き方に、幅があると良いと思う。長時間労働で、肉体労働のイメージがある。

調査結果より

- ・介護の仕事にマイナスイメージを持つ方が8割で、そのイメージを持った理由が、介護の仕事をしている方の話と実際の介護経験によるもので約半数を占める。
- ・介護の仕事をしたいと思わない方は約9割を占めるが、高齢化が進むにつれ自らも日常生活が不自由になった場合は介護サービスを受けると答えた方は約7割であり、自由記載には、介護人材確保の必要性と、そのための介護職員の処遇改善と質の向上の必要性についての記載が複数あった。
- ・「介護の日」については知らない方が9割であり、自由記載には介護の仕事を知る機会が必要、との意見もあった。